

ふたりに取り組む不妊治療 —「男性不妊症外来」を強化し少子化に挑む—

<ポイント>

徳島大学病院 男性不妊症外来の取組の強化

- 1 ご夫婦への包括的支援 (Comprehensive Couple Support)
- 2 先進的な医療技術 (Cutting-edge medical technology)
- 3 地域社会への貢献 (Contribution to the Community)

<報道概要>

日本における出生数が低下する中、不妊原因の約半分は男性側にあることが知られています。この度、徳島大学病院泌尿器科は、この課題に対し産科婦人科と密に連携した「男性不妊症外来」の取組を強化しました。ご夫婦を包括的に支援し、内服治療による精子の質向上や、精索静脈瘤・無精子症に対する高度な顕微鏡下手術を提供することで、徳島県の少子化対策に貢献するものです。

MISSION(私たちの使命)

不妊に悩むご夫婦に対し、原因の約半分を占める男性不妊への専門的かつ高度な医療を提供します。泌尿器科と産科婦人科の緊密な連携により、ご夫婦を包括的にサポートし、妊娠・出産に向けた治療を迅速に届けます。

VISION(私たちが目指す未来)

徳島県における少子化問題の解決に貢献し、子どもを望むすべてのカップルが希望を持てる社会を実現すること。将来的には、徳島県内のみならず中国四国地域の男性不妊治療の拠点として、地域全体の医療水準を牽引する存在となることを目指します。

VALUE(私たちが提供する価値)

・ご夫婦への包括的支援の強化:

泌尿器科と産科婦人科が一体となり、診断から治療までをシームレスに行うことで、ご夫婦の身体的・精神的負担を軽減し、安心して治療に臨める環境を提供します。

・先進的な医療技術の提供:

精索静脈瘤や無精子症に対する高度な顕微鏡下手術まで、最新の知見と技術に基づいた、効果的かつ安全な医療の提供に努めます。

・地域社会への貢献:

県内唯一の大学病院として、不妊治療における地域医療全体の水準向上に寄与し、徳島県の少子化問題に貢献します。

お問い合わせ先

徳島大学病院泌尿器科

担当者 助教 大豆本 圭

電話番号 088-633-7159

メールアドレス daizumoto.kei[アット]tokushima-u.ac.jp

※メールを送信される場合には、[アット]を@に置き換えてください